

プレスリリース

大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

平成 16 年 5 月 6 日

報道関係各位

地震予知を目指す NPO 発足、会員募集のお知らせ

～全国展開第 1 弾は川西(兵庫)と松本(長野)～

大地震の前に大気中のイオン濃度が上昇することが測定されています(例えば 1995 年兵庫県南部地震の直前など)。我々はこの現象に注目し、大気中のイオン濃度を測定する装置を開発し、これによって地震予知を目指すべく、特定非営利活動法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO を設立いたしました(理事長：弘原海 清＝岡山理科大学元教授・大阪市立大学名誉教授，副理事長：能美洋介＝岡山理科大学講師)。

これまでは岡山理科大学一箇所のみでイオン濃度の測定を行って参りましたが、今後測定点を全国規模に拡大することを目指しており、各都道府県ごとに 2 箇所、全国で約 100 箇所程度を目標にしています。全国展開の第 1 弾として、兵庫・川西市と長野・松本市に測定点を設置することが決定しました。

一つの測定点で半径 300km 程度をカバーしますが、1 台の測定器の導入、維持管理コストとして、ほぼ 100 名の継続参加会員(会費年 5000 円，学生・65 才以上 3000 円)が必要であり、関心のある方々の参加をお願いする次第です。報道関係各位には NPO e-PISCO の活動を理解していただき、本件の周知にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

NPO e-PISCO の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

<http://www.e-pisco.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ

NPO e-PISCO 事務局

press@e-pisco.jp

大気イオン濃度測定ネットワーク

(2004年5月現在)



新開発のイオン濃度測定器